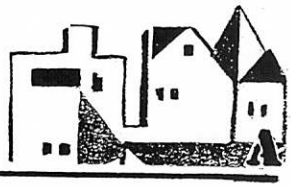
# 弓削通信 フォニックス

2016.5.15 №71（通巻198）Since 1991.6


発行者　平山和昭　☎&Fax 0897-77-3072
〒794-2509 愛媛県越智郡上島町弓削土生318-2
メール　yugeru3@ray.ocn.ne.jp
フェイスブック　http://www.facebook.com/kazuaki.hirayama
ブログ　http://blogs.yahoo.co.jp/yugeru_fish

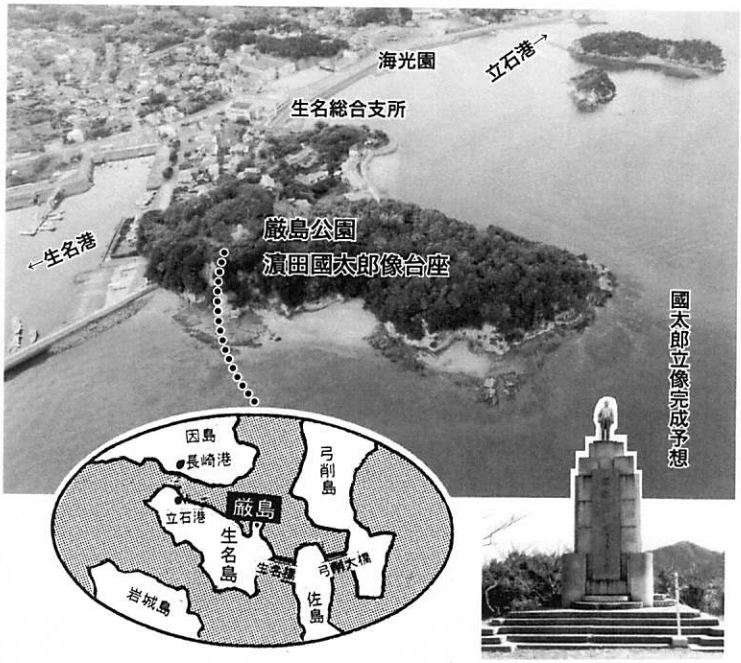



## わが町生名島出身で日本海員組合を創った男

# 濱田國太郎の立像を復活させます

## ご協力をお願いします！

昭和10年に建立された濱田國太郎銅像（寿像）竣工に駆けつけた濱田組（海運業）の社員。




### 「濱田國太郎を顕彰する会」

上島町生名島出身の濱田國太郎（明治6～昭和33）は家業没落により12才で海上労働者となるも、きびしい境遇に屈することなく知見を高め、大正10年、日本海員組合を興し、当時劣悪だった下級船員の労働環境の改善に心血を注ぎました。

船員からは海父と呼ばれ、日本の近代化にも貢献した國太郎。そのような人物を育んだ郷土を誇りにし、國太郎の歴史的な働きを世に伝える目的で、平成25年からの準備会を経て、平成26年に結成されました。

濱田國太郎を顕彰する会
代表　村上　貢（生名在住）

「濱田國太郎を顕彰する会」は、生名島・厳島に残る、かって濱田國太郎の銅像のあった台座の保全活動をしています。

**目標金額 150万円　一口千円　何口でも**

●間い合わせや連絡はこちらにどうぞ。事務所〒794-2506 上島町下弓削515番地
特定非営利活動法人頼れるふるさとネット気付。事務担当・平山（090-8247-5279）
実務担当・濵田哲久（生名 76-2346）　実務担当・浜村　寿（弓削 77-3385）

## きどぐち 七二

青木喜代子

いきなりの夏日到来に、慌てて冬物を納める。

衣替えの度に思うのだけど、着ない服を出したり入れたり、とても無駄な努力だと。

夫のフリースのジャンパーとセーターを何枚か、昨年のネパール大震災の救援物資を送る友人の箱に便乗させてもらったけど、今年、夫は着る服に不自由なく過ごした。もしかして送った事さえ忘れていたのかも。腐るでもなく収納場所があるだけに、ただ捨てられず・・・。

そろそろ処分の頃かな。ウエスにして第二の人生を歩んでもらおう。着物はえらい。ほどけば一枚の布になり、形を変えて第二の人生を歩める。

数年前、処分される運命の義母の羽織を割烹着にした。最初は袴のようにカパカパして着心地が悪く、こりゃ失敗作かと。しかし洗濯機でガンガン回しているうちに、根性がなくなったのか、とてもしなやかになり、あろう絞りの羽織をチュニックにして届けた。翌日、捨てると言っていた長女とおばが、それを着たメールを送ってくれた。「軽いな～。ええわ～。母がまた送るから、いいの作ってな。」　お世辞でもうれしい。

型紙もなく、縫い代なんていい加減のチクチクリメークを、几帳面な母は冷や汗もので見ている。

今じゃヒット商品。袖口にゴムを通した割烹着は、動きやすく、何より着ているだけで働き者のヨメに見えるという優れもの。お試しあれ。

私の才能（？）を聞きつけたおばが、ダンボール箱で着物を送って来た。電話口で「娘達はな、処分場に捨てに行くと言うねん。どうにかしてよ。」

早速おばが娘時代に着てたで

## ミニ知識（ネット情報より）

福島原発事故以降、首相官邸前など各地で盛んに脱原発デモや抗議運動が行われていますが、どんなに脱原発運動が大きくなろうとも、いまのままでは日本が本当の意味で脱原発を達成することはできません。何故ならば「日米原子力協定」で、日本は大量の使用済み核燃料を「MOX燃料」や「核燃料サイクル」として使用しなければならないと決められているからです。

「日米原子力協定」は、1955年11月14日にワシントンで調印され、使用済み核燃料のアメリカへの返還、貸与燃料を目的どおり使用すること、使用記録を毎年報告することが明記されています。日本初の原子炉を導入することが決まったのもこの協定によるもので、日本の原発を生み出した大本の原因がこの「日米原子力協定」と言うことなのですが、それ以外にも日本の全ての原発の管理をイスラエルの会社がしているなど多くの問題を抱えています。

# 弓削通信 フェニックス

2016.5.15 №71（通巻198）Since 1991.6


発行者　平山和昭　☎&Fax 0897-77-3072
〒794-2509 愛媛県越智郡上島町弓削土生318-2
メール yugeru3@ray.ocn.ne.jp
フェイスブック http://www.facebook.com/kazuaki.hirayama
ブログ http://blogs.yahoo.co.jp/yugeru_fish



講師 エッセイスト
**海老名香葉子** 先生

演題 **私たちの国に起きたこと**

東京大空襲で家族を失った香葉子さんは、ひとり疎開先から焦土の地へ。

●1933 年東京生まれ。東京大空襲で母、祖母、長兄、次兄、弟の家族 6 人を亡くす。戦後初代林家三平と結婚。現・林家正蔵、林家三平の母。 著書に「私たちの国に起きたこと」（小学館）他多数。

'16年6月11日(土)午後2時―4時
芸予文化情報センター 尾道市因島土生町100-4 電話0845-22-8660
学費2000円（当日会場でも受付いたします）

●因島自由大学は 1996 年、第 1 回を開講。本年で 20 回を迎える。毎年著名な講師を招き、講演と、翌日の、講師とヒザを交えての交流ができる講義外授業が特徴。
学長は因島出身の新人物往来社（出版社）元社長の大出俊幸氏。

どなたでも自由に参加できます。
因島自由大学

お申込み・お問合せ 因島自由大学事務局（小林）〒722-2324 尾道市因島田熊町1373
電話 fax 0845-22-1687（小林） 携帯 090-4140-0636（緊急時）
http://www.jiyuudaigaku.jp
入会申込み order@jiyuudaigaku.jp
入会以外のご用件 info@jiyuudaigaku.jp

お問い合わせ　弓削通信まで


議員活動録

## 町長・議員の改選の年
# どんな町に住みたいか

（38）上島町議会議員 平山和昭

### 国政も町政も、根は同じ

昨今、一国の総理のおかしさばかりが度を越している現実の中で、政権与党のなかからそれをたしなめようという動きも無い。であるならば、せめて現政権の暴挙をストップさせようの姿勢を鮮明にする人物に、はかない望みでも託すしかありません。たとえば取りざたされる消費税アップにしても、まぎれもない増税であり、その使途不明税は重税感満載でわれわれの日常生活に直結しています。年金基金の運用損が十兆円とか聞くと、だれも責任をとらずツケは納税者というお定まりの図式に怒りさえ覚えます。

国政のひな形に見えてしまう首をかしげる事業の多いわが町ですが、その行政に関わる者を選ぶ選挙は、有権者ひとりひとりの責任重大な事項です。

### 色々変わってゆく年

今年は選挙の年です。七月には参院選、十月下旬には我が町の町村合併後四期目の町長、議会議員の改選があります。紆余曲折のすえ、議員の選挙区は町長と同じく全町一区となります。やっと議員それぞれが、全町民から選ばれるという本来の姿になるわけです。

経験からいえば、選挙は気力勝負です。むろん気力ばかりでは、有権者は貴重な一票を投じてはくれません。いやな言い方をすれば、選挙の時だけ有権者では実も蓋もありません。それを敏感に感じるからこそ、有権者から嫌みも言われることも多いです。

### 投票の意味を考えると

ところで一票を投じるとはどういうことでしょう？

町政がうまく回るかどうかは有権者の動き次第。そう考えれば誰に我が票を投じるかの選択の基準は、かなり厳しいものになるでしょう。つまり、有権者は、それぞれがまた住民の代表としての一票を投じていることではないでしょうか？ 決して選挙の時だけの一票ですむはずがありません。

合併後の十二年、それぞれの有権者が選んだ町長が、議員が、有権者である自分の意に沿うような動きをしたかどうか。その評価を意志表示するのが改選というものではないでしょうか。したがって義理や人情だけでも決められず、日常は日常、選挙は選挙、との割り切りが求められていると思うのです。

### 惰性を脱却せねば未来は無い

日本の選挙は、多かれ少なかれ、飲み食い握らせがいまだに残っているようです。それでしか有権者の歓心を買えないと考える候補者も、支援する人々にもあったからでしょうし、現にあるからでしょう。親戚選挙と言われることも中々変わりません。しかし、かりにそうであったにしても、結局は選ぶ方の責任が重いのに違いはありません。

とはいえ、長い慣習からの脱却も至難のわざ。いまさらな感じもしないではないですが、希望を捨てず、諦めず、われわれは政治的に成熟した民になるべく努めるしかないと考えます。旧弊を脱せねば未来は無いです。

温故知新 **上島人物伝 その1**

初代弓削村村長・中村晴二郎の場合

### ―観光立町で未来が描けるか？―

平成 28 年 3 月定例議会で上島町は観光立町でゆくとし、「上島町と気候風土が似ている地中海のイタリアで農林水産業、歴史、文化等を学び、交流を深めることにより観光産業の発展や地域活性化につなげるため姉妹都市提携を目指す」とにわかに観光が前面に出てきた。新規事業に「イタリア姉妹都市プロジェクト」なるものも立ち上がり、すでに町長をはじめとする議長、観光協会長、担当部署長、職員が提携先を求めてイタリア旅行に行ったが、その成果やいかに？

明治 34 年、近代化に邁進していた日本の、瀬戸内海の寒村であった弓削村と岩城村が組合をつくり、郷里の子弟の将来のため船員養成を目的とした組合立弓削海員学校を立ち上げた。学校はのち国立商船学校を経て今日の国立弓削商船高専につながっている。多くの有能な船員を輩出し、故郷と海運国日本を支えた。立案の中心人物は初代弓削村村長・中村晴二郎。そして一介の船員から努力して甲種船長となり、幾多の事業を興した弓削島の田坂初太郎たちであった。

さて観光立町は、その継嗣たり得るか。

やよみ亭 映画研究会（無料）

5月15日（日）19時から

**【ブレイブ・ハート】**

●11 世紀、イングランドの圧政に抵抗したウイリアム・ウォレスの物語。映画研究会発足のきっかけになった作品。1995 年作

やよみ亭・出よう会

地区のお年寄り達の交流会
毎月　午後 1 時から 3 時開催。
・第 2 火曜はやよみ亭
・第 3 火曜は弓削土生集会所。
・5 月は 10 日と 17 日。
・6 月は 7 日と 14 日です。

NPO 法人頼れるふるさとネット
0897-72-9188　または
090-8247-5279（平山）

上弓削港のウエルカム鯉のぼり

ふわりふらっと ②

大西幸江

私は、お嬢様であるとたまに言われます。でも、毎月通帳とにらめっこして、家計簿をつけ、教育資金の積立を考えると赤字。毎月の報酬ではとても無理。四か月に一度の母子手当も含めて何とか借金はしないように。これがお嬢様の懐事情。「貧乏暇なし」とはよく言ったもので、何も待ってはくれません。特に子育ては、心のこと、体のこと、精神のこと、食べること、病気のこと・・・。

私も子育て一年生。彼女たちも私の子ども一年生。摺り合わせが必要です。今は草刈りも忙しく、草刈機を使ってきれいになったと思ったら、最初のところは草が伸びてる。家計の足しになるように、食育も兼ねての菜園や花壇も功を奏しているのかいないのか？でも、おかげで新しいメニューのレパートリーが増えたりします。

あるものを活用しようと思ったら知恵が必要です。調べること、考えること、実行すること。これを私の中にちゃんと育ててくれたのは、両親。貧乏は悪いことばかりではありません。人を成長させてくれます。

田舎は都会に比べて不便です。田舎だから見えること、できることがあります。地方創生もたぶんそういう意味。たくさん考えたら、なにかいいアイディアが浮かぶはず。